

サプライチェーンにおける取り組み

基本的な考え方

OKIグループはモノづくりの基盤を支えるため工場間の連携を強化し、グループ横串での生産・調達活動により効率の最大化・QCDの最適化を目指しています。調達活動においては、ステークホルダーの声に応える持続可能な企業活動にはお取引先の協力が不可欠との認識に立ち、信頼関係の構築に努めるとともに、部材の安定調達とサプライチェーンにおけるCSRの取り組みを推進します。

OKIグループ資材調達方針
<https://www.oki.com/jp/sustainability/social/procure/policy.html>
OKIグループサプライチェーンCSR推進ガイドブック
https://www.oki.com/jp/sustainability/social/procure/pdf/csrguide_202106.pdf
パートナーシップ構築宣言
<https://www.biz-partnership.jp/declaration/68-05-22-tokyo.pdf>

体制

OKIは、「バーチャルOneファクトリー」構想により各生産拠点を有機的につなぎ、コスト競争力の向上と付加価値の最大化によってグループ全体で強いモノづくりを実現するため、2023年4月に全社の生産工場と調達部門を統合した生産調達統括本部を設置しました。

同本部は各生産拠点を統括するとともに実行機能を横串で俯瞰し、「止まらない工場」「魅力がある工場」「高付加価値商品」をキーワードに、工場間の連携強化やスマート工場化を推進しています。

同本部下の調達部門および物流部門は、各工場・事業との連携を密にしながらグループ視点でサプライチェーン課題に対応しています。



「バーチャルOneファクトリー」から「Oneファクトリー」へ

「バーチャルOneファクトリー」は複数の異なる工場業務の共有を通じて工場間の連携を強化し、複数の工場をあたかも一つの工場のように融合する構想です。2023年度はこの実現に向けたインフラ整備（従来の事業ごとに最適化された開発環境などの標準化、生産技術の集約、人的交流など）とともに一体感の醸成が進み、「魅力がある工場」づくりに向けた生産イノベーション事例の共有も活発化してきました。2024年4月からはもはやバーチャルではない「Oneファクトリー」として、OKIグループのモノづくり集団としての強みをさらに磨いていきます。

マテリアリティの取り組みと実績

マテリアリティ	主な取り組みテーマ	2023～2025年度の取り組み	2023年度の実績
持続的成長を支える経営基盤強化	責任ある調達活動の推進	CSR調達推進プログラムの継続的な実行	お取引先38社に自己評価表による調査を実施

部材の安定調達に向けた取り組み

激甚化する自然災害、疫病や紛争を契機とした世界規模での資材不足などのリスクが高まる中、部材の安定供給はサプライチェーンマネジメントにおける重要課題となっています。OKIは、「部材調達リスク」をグループ横串で管理すべき「共通リスク」と位置づけ、取り組みを強化しています。調達BCPとしては、災害発生時に適用する手順書を策定し、お取引先の製造拠点所在地の定期的な調査、有事の連絡方法の改善などを継続的に実施しています。

また、子会社を含めた調達部門間の定期的なミーティングによりお取引先からの資材供給状況を速やかに共有するとともに、グループ内での在庫融通、市場流通在庫品の探索、長期化したリードタイムに応じた早期発注、代替品の採用などの対策を実施しています。

CSR調達の取り組み

OKIはサプライチェーンにおける人権・労働・安全衛生・環境などのリスクを評価するため、「OKIグループサプライチェーンCSR推進ガイドブック」^{※1}に基づくCSR調達推進プログラムを実行しています。2021年度からの3年計画では、取引金額の9割を構成するお取引先約2,000社から取引内容・拠点所在地などの条件で絞った約300社^{※2}を対象に、自己評価票による調査を実施しました。全体の得点率や特定の項目で著しく得点が低いお取引先に対してはその旨をフィードバックし、実態把握や是正の支援などのコミュニケーションを行っています^{※3}。2023年度は一部対象企業を見直して38社に対し調査を実施し、取り組みに懸念があるお取引先はありませんでした。引き続き、調査項目や対象範囲の見直しを含め、CSR調達の拡充を図っていきます。

CSR調達調査実績（累計）

年度	2021	2022	2023
調査社数	61	168	206
回収率	84%	73%	77%
フィードバック社数	5	6	6

※1 JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）「責任ある企業行動ガイドライン」に準拠

※2 調査開始時。お取引先集約などにより2023年度時点で206社

※3 フィードバックを実施した項目の例：環境、公正取引・倫理、情報セキュリティ、事業継続計画、管理体制

WebサイトではCSR調達の取り組みの詳細や責任ある鉱物調達についてご紹介しています。
<https://www.oki.com/jp/sustainability/social/procure/sc.html>